

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月3日(土)

会場 日立北高等学校体育館

【男子の部】 第2日目 Eコート 第1試合

チームA 県立高崎商業 群馬	73	{ <table border="0"> <tr><td>23</td><td>1Q</td><td>34</td></tr> <tr><td>15</td><td>2Q</td><td>26</td></tr> <tr><td>17</td><td>3Q</td><td>28</td></tr> <tr><td>18</td><td>4Q</td><td>26</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table> }	23	1Q	34	15	2Q	26	17	3Q	28	18	4Q	26		OT		114	チームB 県立弘前実業 青森
23	1Q	34																	
15	2Q	26																	
17	3Q	28																	
18	4Q	26																	
	OT																		

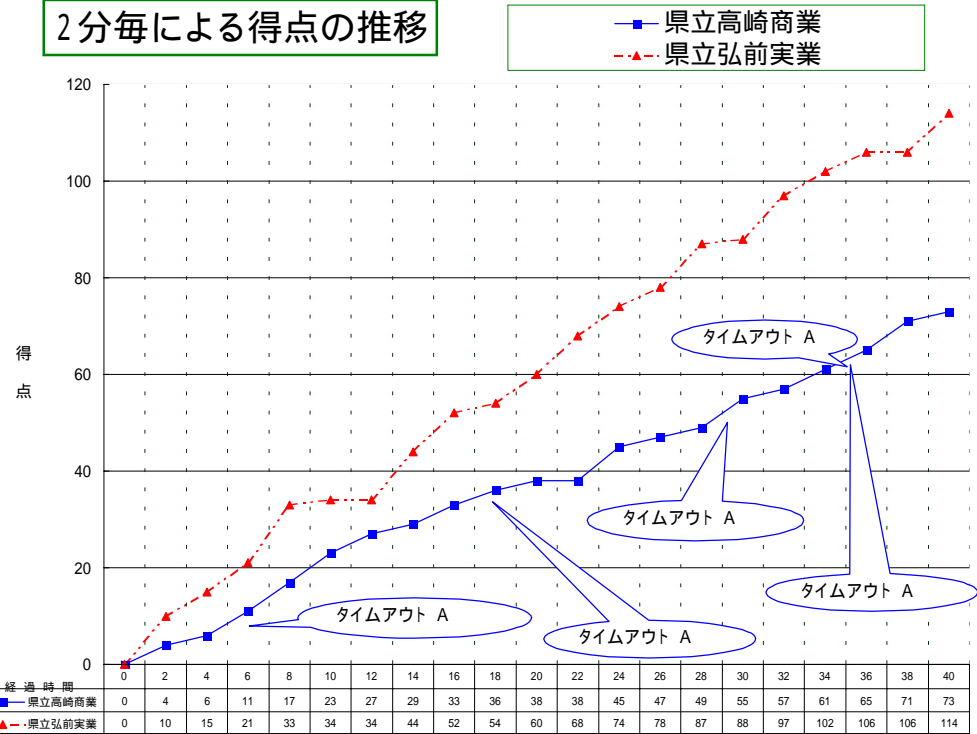
県立高崎商業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	品川 典明	2	0	3	1	1	0	0	1	0	0	5	1	0	0	25
5	阿部 智亮	19	0	2	9	20	1	2	2	4	3	4	3	1	0	31
6	飯尾 彰悟	10	2	11	1	3	2	2	5	4	2	2	0	0	0	16
7	湯浅 夢音人	10	0	0	5	9	0	0	3	2	1	1	0	0	1	14
8	塩山 隼輔	8	1	5	2	8	1	2	3	0	4	8	2	11	0	39
9	林 聖次郎															DNP
10	天田 毅	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	1	0	0	0	5
11	蓮見 次郎															DNP
12	上田実知仁	4	0	8	2	6	0	0	1	0	4	1	0	1	0	12
13	坂本 優	2	0	0	1	3	0	0	1	0	1	2	0	0	1	8
14	篠原 徹	8	0	0	4	8	0	2	3	5	2	4	0	3	1	26
15	篠原 賢	10	0	0	2	9	6	6	3	7	5	2	0	0	2	24
コーチ	中山 義則								0							
		73	3	29	27	67	10	16	22	22	25	30	6	16	5	200
		確率	10.3%		40.3%		62.5%									
																計 47

県立弘前実業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	小野 公太郎	10	2	8	2	3	0	0	3	0	2	0	4	5	0	33
5	相馬 大地	15	0	0	7	11	1	2	3	4	4	2	3	2	0	31
6	尾崎 宏次	28	2	7	11	14	0	1	1	4	5	2	4	3	2	31
7	中村 啓彦	19	0	0	9	16	1	2	1	1	3	5	3	3	0	31
8	馬場 広貴	13	3	5	1	3	2	2	4	0	3	0	0	0	1	16
9	福士 大輔	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	5
10	小山 幸造	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
11	佐藤 康弘	2	0	6	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7
12	安田 英裕	5	0	2	2	3	1	3	0	1	1	0	1	0	0	7
13	鈴木 章裕	21	0	0	9	11	3	4	4	3	5	0	2	0	1	26
14	一戸 祐也	1	0	0	0	3	1	2	1	0	1	1	0	0	0	5
15	金 修永	0	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
コーチ	相川 断								0							
		114	7	29	42	71	9	16	17	14	27	12	19	13	4	200
		確率	24.1%		59.2%		56.3%									計 41

2分毎による得点の推移



戦評

高崎商マンツーマン、弘前実2-2-1ゾーンプレスで始まった第1P。最初に流れをつかんだのは弘前実。ディフェンスが機能し、高崎商につけるスキを与えず#6尾崎の活躍などで点差を広げていく。一方高崎商は#14、15篠原兄弟を投入しインサイド勝負に見出そうとするが、流れを変えるまでにはいたらず、終盤速攻が決まりだしたものの34対23弘前実リードで第1P終了。

第2P、攻守がめまぐるしく変わる展開のなか、弘前実#6尾崎、#13鈴木のカットインやジャンプシュートで得点を重ねていくのに対し、高崎商はあせりからか、徐々にパス、シュートに正確性を欠き60対38弘前実リードのまま前半を終える。

後半になっても弘前実のディフェンスが冴えわたり、スティールを連発。高崎商も#6飯尾の3Pシュートなどで応戦するが点差は縮まらない。

第4P、高崎商は#8塩山を中心に最後まで諦めず、粘りをみせるが、弘前実のディフェンスを崩すことができず114対73で弘前実が3回戦進出を決めた。

主審 佐藤 誠

副審 大森 智之

記入者 鹿島 正浩